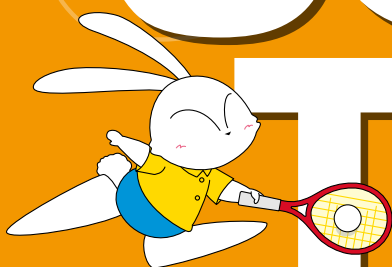


8

AUGUST
2024
No.843

Soft [ソフトテニス] Tennis



公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

令和6年度 定時評議員会 報告

2024仁川コリアカップ国際ソフトテニス大会

- 第3回 ソフトテニスの新時代に向けて
- 第6回 ソフトテニストレーナー研修会 報告 ～後編～
- 第53回 ゴーセン杯争奪
ハイスクールジャパンカップ2024
- 令和6年度 西日本シニアソフトテニス選手権大会
- 第78回 西日本ソフトテニス選手権大会

理事会・専門委員会報告

Soft 8

AUGUST
2024
No.843

[ソフトテニス]

Tennis

C O N T E N T S

【表紙写真】

6月下旬に韓国・仁川市で開催された「2024仁川コリアカップ国際ソフトテニス大会」。写真は同大会で圧倒的な強さを見せた日本選手団

- 1 公益財団法人 日本ソフトテニス連盟
令和6年度 定時評議員会 報告
- 7 令和6年度 定時評議員会用資料
- 13 2024仁川コリアカップ国際ソフトテニス大会
国際トレーニングセミナー開催
- 19 第3回 ソフトテニスの新時代に向けて
- 22 第6回 ソフトテニストレーナー研修会 報告 ～後編～
- 25 第53回 ゴーセン杯争奪
ハイスクールジャパンカップ2024
- 30 令和6年度 西日本シニアソフトテニス選手権大会
- 32 第78回 西日本ソフトテニス選手権大会
- 34 支部ニュース
- 36 学連ニュース
- 37 理事会・専門委員会報告
- 39 次号予告
- 40 2024年度(令和6年度)大会日程及び開催地一覧

令和6年度 定時評議員会

報告



【Ⅰ】日時：令和6年6月23日（日） 13時 開会

【Ⅱ】開催方法：参集

【Ⅲ】会場：アワーズイン阪急ツイン館 第1・第2会議室

住所：〒140-0014 東京都品川区大井1-50-5

【Ⅲ】出席者 評議員：42名（欠席：8名）、参与：1名、理事：19名（欠席：4名）、監事：2名（欠席：1名）

【Ⅳ】次第

1 開会

定款第23条第1項および第2項により、評議員の定足数50名に対し、出席者42名となり定足数に達しており、評議員会が成立すると報告があった。

2 あいさつ

安道光二会長より、令和5年度事業報告書案決算報

告書案、役員選任、評議員選任など重要な案件を議決する会議となる。忌憚のない意見を述べていただき尚且つ円滑に進めていただきたいとの挨拶があった。

3 議長選出

定款第20条第2項により、出席した評議員の中から互選により議長は選任されとの説明があった。出席者に意見を求めたところ、栃木県の木所一典評議員より群馬県の佐藤栄一評議員の推薦があり、満場一致

で議長に選任された。

4 議事録署名人の指名

定款第24条第2項により、議事録署名人に和歌山県の花田一弥評議員と加藤育広理事が指名された。

5 議決事項

第1号議案 令和5年度事業報告書(案)について

事業報告書(案)については、本連盟の公益事業の3つの柱である「ソフトテニスの普及振興事業」「競技力向上事業」「国際振興事業」そして組織を支えるための共通施策で構成されている。

I. 普及振興事業

・大会開催および運営に関する事項

予定されていた大会を実施できたが、都道府県対抗全日本中学生大会の女子個人戦については雨天のため中止となった。天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会は、令和5年度より3年間、東京開催に固定して計画している。

・加盟団体への支援

運動部活動地域移行に関する支援について、実施は3支部に留まったが令和6年度にも引き続き取り組んでいく。また、加盟団体への支援ではないが、取り組みのひとつとして指導者研修会があげられる。例年は各都道府県より小学生・中学生・高校生の指導者を一堂に会して開催していた研修会を、運動部活動地域移行をテーマとし、中学生指導者に絞って実施した。

・広報活動の推進

機関誌の紙媒体での発行は令和5年度まで、令和6年度からはホームページに掲載し、広く閲覧できるようにする。

・用具・用品・施設の公認

令和5年度で退会あるいは新規参入となった事業者について記載している。

・アンチ・ドーピング活動の推進

令和5年度は検査対象となった大会は全日本選手権のみとなっている。アウトリーチ活動は、大会会場にブースを設置し、アンチ・ドーピングへの認識を深めてもらうための活動で、アンチ・ドーピング部会を中心に活動しており、日本スポーツ振興センターのくじ助成の対象となっている。

II. 競技力向上事業

令和5年度はアジア競技大会で素晴らしい成績を収めることができ、本年の世界選手権、来年のアジア選手権、再来年に名古屋で開催されるアジア競技大会に向けてより一層の強化推進をしていく。指導者育成事業としては、スタートコーチ共通科目講師の養成のため、本連盟のコーチデベロッパーによる講習会をオンライン開催した。

III. 国際振興事業

令和5年度は国際大会も開催され、他国とのソフトテニス普及発展のための協議や、大会開催や参加国増に向けた対策なども浮上してきている。国際活動は令和6年度からは活発化することが予想される。

【第1号議案質疑応答】

議長より第1号議案の質疑等について促されたが、質問等は無かった。

【第1号議案の承認】

議長より第1号議案について諮られ、賛成多数により承認された。

第2号議案 令和5年度決算報告書(案)について

決算報告書としては、貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、付属明細書、財産目録で構成されている。本連盟の会計は、一般会計と特別会計から構成されており、予算だてや事業管理、執行状況などには収支計算書を活用している。収支計算書の投資活動収入の部

は、積立金を取り崩した際に、取崩収入としてここに計上するもの。費用支出は、各事業科目にて計上となる。積み立てる際には、投資活動支出の部に計上する。この積立については、当初予算および補正予算編成時にご説明させていただいたとおり、決算状況を見て会計士と相談し判断させていただいた。この収支計算書には「使用するために取り崩した額」「あらためて本年に積んだ額」となっているが、その結果の年度末残高については、貸借対照表と財産目録に示されている。

【貸借対照表】

本連盟の資産と負債について記載している。

・流動資産

現金預金、未収金、貯蔵品となっている。貯蔵品は年度末での出版物在庫、技術等級バッジ、審判員ワッペンなどの在庫を、作成費をもとに、価値として表している。

・固定資産

基本財産は特に変更はない。

・特定資産

特定資産として各種積立金など年度末残高を計上している。

・その他固定資産

日本連盟事務局のある建物とテニスパーク棚倉の土地、建物および付属設備、器具備品等となっている。

・負債の部

未払金、前受金、預り金、賞与引当金を計上している。前受金は、令和6年度収入計上すべきものが令和5年度内に入金となったもの。

【正味財産増減計算書】

連盟事業の収入と支出について前年度と当年度を比較し、前年度からの増減を示している。収支計算書で計上されたものを、こちらの分類に合わせて整理している。

【正味財産増減計算書内訳表】

本連盟の経常収益と経常費用について、この内訳表に示されている科目に集計し、それを公益目的事業と法人管理に事業比率に応じて割り振って計上

している。

【財務諸表に対する注記】

会計方針、財産等の増減と残高および内訳、固定資産の説明、有価証券、補助金等の内訳および増減を説明している。

【付属明細書】

賞与引当金、退職給付引当金について示している。

【財産目録】

令和5年度末の本連盟の財産について、流動資産、固定資産、流動負債、固定負債について示している。各種残高証明書や通帳、管理台帳は監査にて確認されている。

令和5年度の全期間を通じ、公認会計士とはいつでも連携を取り、助言していただける体制となっている。日常の経理処理、そして決算整理の段階、財務諸表の作成についても公認会計士の指導を受けて作成している。会計監査において、各残高や会計書類など正しく整備されているとして問題なく終了し、監査報告書をいただいている。

監査報告

令和6年5月22日、27日の2日間、日本ソフトテニス連盟事務局にて令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行った。その方法及び結果について、次のとおり報告する。

1. 監査の方法及びその内容

(1) 各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査した。

(2) 当該事業年度に係る事業報告及び会計帳簿及び財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書ならびに財産目録について

検討した。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

(2) 財務諸表及び付属明細書ならびに財産目録の監査結果は、法人の財産および損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

【第2号議案質疑応答】

議長より第2号議案の質疑等について促されたが、質問等はなかった。

【第2号議案の承認】

議長より第2号議案について諮られ、賛成多数により承認された。

第3号議案 理事の選任について

役員候補者の選出に関して、天野晴夫役員選考委員から発表する説明があった。

定款第29条の定めにより、本連盟の理事および監事の全員がこの定時評議員会終結時をもって任期満了により退任となり、新たに理事および監事を選出する。役員選出規程に基づき、5月11日に日本連盟事務局にて9名の役員選考委員により委員会が開かれた。地区等選出理事、会長推薦理事、会長推薦監事、東日本連盟および西日本連盟からの監事選出結果について次のように報告された。

地区等選出理事 10名

会長推薦理事 13名

監事 3名

【第3号議案質疑応答】

議長より第3号議案の質疑等について促されたが、質問等はなかった。

【第3号議案の承認】

議長より第3号議案について1人ずつ諮られた。

(1) 地区等選出理事 10名

全員、議長より諮られ、賛成多数で承認された。

(2) 会長推薦理事 13名

全員、議長より諮られ、賛成多数で承認された。

(3) 監事 3名

全員、議長より諮られ、賛成多数で承認された。

第4号議案 評議員の選任について

定款第17条により、本連盟の評議員は本定時評議員会の終結時をもって任期満了による退任となり、新たに評議員を選任することとする説明があった。

議長より第4号議案について、第3号議案役員選任と同様に1名ずつ諮ることが原則であると説明があった。栃木県木所一典評議員より、議長が選任された評議員を1名ずつ読み上げ、一括して議決とする提案があった。全員の同意を得たことにより、議長より評議員候補が読み上げられた。

【第4号議案質疑応答】

議長より第4号議案の質疑等について促されたが、質問等はなかった。

【第4号議案の承認】

議長より読み上げた評議員50名について諮られ、賛成多数により承認された。

6 報告事項(業務執行状況、他)

(1) 大会要項における参加条件の項目追加について(競技委員会)

大会要項における参加条件の項目を下記のとおり追加した。理由としては、近年の感染症の動向を踏まえ、感染症に罹患しているもしくは罹患が疑われる選手の出場を抑止するため、出場選手を含む関係者が留意すべき事項となっている。なお実施大会は、令和6年度全日本ミックスダブルス選手権大会以降の日本連盟が主催、共催等する全大会とする。ただし、今年度

の大会要項はもう既に発表しているため、今回は本連盟ホームページに記載し周知していく。

・追加内容

- ① 37.5℃以上の発熱のある選手は大会参加を見合わせる。
- ② 新型コロナ、インフルエンザの陽性判定を受けた場合、有症状は発症日から、無症状は検査を受けた日から、5日間は外出を控える。
- ③ 上記に当たらない場合でも、咳、倦怠感などの症状を有する者はマスクの着用などの感染拡大予防に留意する。

(2) ワールドマスタースゲームズ関西 2027 について (競技委員会)

2021年関西地区で開催予定だったが新型コロナの影響で延期となっていたが2027年に開催予定で進めている。今年秋に開催日程が決まるので周知をお願いしたい。なお2025年には台湾で開催予定。合わせて広報活動等に協力していただきたい。

(3) 公認事業者の退会について (用具・用品・施設委員会)

令和5年グローブライド(株)より、ラケット公認事業者(ラケット名:プリンス)としての退会申請があり、令和5年度末をもって公認業者を退会した。

(4) 能登半島地震復興支援イベントの開催について

佐藤健司専務理事より6月2日(日)石川県内灘町で、メーカー各社(ヨネックス、ナガセケンコー、ルーセント、ダンロップ)の協力を得て、復興支援応援ソフトテニスイベントを開催し小中学生206名の参加があったとの報告があり、続いて永井茂樹理事より、各都道府県連盟から多くの募金をいただいたお礼が述べられた後、イベント報告として、能登出身で実業団や大学で活躍している選手12名が実技指導や模範試合を行い、参加したジュニア選手にソフトテニスの笑顔と元気を与えることができた。また能登半島地震後、

復興が進んでいない状況や、テニスコート場所に仮設住宅が建てられている現状報告があった。

(5) 令和6年度臨時評議員会日程について

次回の臨時評議員会は、令和7年2月16日(日)午後1時よりリモート会議で計画している。

7 支部提案・質問等

(1) 大分県連盟より

大分県連盟より「臨時評議員会で、上位大会が無いとクラブ普及は活性化しないという理由から全国選抜クラブプレ大会開催(令和7年度)、全国クラブ選手権開催(令和8年度)と発表があったが、それ以来何も進展が発表されていない。詳しい内容を発表してほしい。」との質問があった。中学校運動部活動の地域移行推進計画については、令和6年2月開催の臨時評議員会で説明したが、開催時期、開催場所は最終的には決まっていない状況で、尚且つ本連盟の財務状況も非常に厳しい。新規大会を開催するにしても相当の経費がかかる。現在スポーツメーカー関係の財団などに打診して新たな財源を確保する方向で進めている。できれば今年度は11月上旬に令和5年度と同様に地域移行の各都道府県の担当者、中体連関係者を一堂に会してまた意見交換をする予定にしている。そのときまでには具体的な案を示せるよう進めている。

(2) 会員登録料について

会員登録料収入は、コロナ前と比べて4割減で、この2年間で1億を超える財産減となった。この状況を鑑みて会員登録料の値上げを検討せざるを得ない状況である。他競技(卓球、バトミントン、バスケット、野球)で会員数が10万人以上の組織と比較したところソフトテニスは会員登録料が非常に低い団体であることが分かった。他競技団体の平均的な金額に値上げすれば、財源の改善が見込める。ただ単に会員登録料を値上げするのではなく、国際事業や強化事業など使用目的を定めてどれだけ値上げするのかなど綿密に検討している。

8 その他

6月18日韓国・インチョン広域市でアジア連盟の総会があった。本来ならば4年に1度開催するアジア選手権大会の時に役員改選するという決まりになっている。今回は臨時総会で、開催理由は、不在だった会長職の選出、アジア連盟事務総長笠井達夫氏（神奈川県連盟会長）の退任の申し出があったためである。今回の臨時総会で、アジア連盟会長に安道光二日本連盟会長、事務総長に佐藤健司日本連盟専務理事が選出されたことを報告する。国際的な組織としては、国際連盟、アジア連盟があり、国際連盟の会長と事務総長は韓国、アジア連盟の会長と事務総長は日本が担当している。

【V】閉会

会議は終始異常なく、全ての議決事項及び報告事項が終了した。佐藤栄一議長より、円滑に会議が進行したことへの謝辞が述べられた。

荒木朋子事務局長より、この後、別室にて第3回理事会を開催し、会長・副会長・専務理事・常務理事を決定することが説明された。

また、この評議員会終結をもって退任となる星野博副会長が評議員の皆様のご協力により円滑に会議が進行できたことに感謝し閉会を宣言した。



(1)貸借対照表

令和6年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,729,607	12,200,630	5,528,977
未収金	32,441,285	55,153,625	△ 22,712,340
貯蔵品	10,024,863	8,829,847	1,195,016
流動資産合計	60,195,755	76,184,102	△ 15,988,347
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	48,564,000	48,564,000	0
投資有価証券	101,436,000	101,436,000	0
基本財産合計	150,000,000	150,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	25,530,825	27,834,910	△ 2,304,085
修繕積立金	4,853,640	4,753,640	100,000
テニスコート修繕積立金	5,933,420	4,933,420	1,000,000
普及振興事業積立金	97,500,000	91,000,000	6,500,000
広報活動積立金	10,000,000	10,000,000	0
大会運営補助積立金	13,000,000	13,000,000	0
国際振興積立金	130,000,000	130,000,000	0
特定資産合計	286,817,885	281,521,970	5,295,915
(3) その他固定資産			
建物及び付属設備	202,291,460	222,733,696	△ 20,442,236
器具備品	8,265,355	9,788,203	△ 1,522,848
ソフトウェア	2,007,832	3,283,832	△ 1,276,000
土地	84,715,134	84,715,134	0
その他固定資産	297,279,781	320,520,865	△ 23,241,084
固定資産合計	734,097,666	752,042,835	△ 17,945,169
資産合計	794,293,421	828,226,937	△ 33,933,516
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,179,414	6,330,204	△ 150,790
前受金	500,000	0	500,000
預り金	3,521,426	2,165,319	1,356,107
賞与引当金	2,560,127	3,395,026	△ 834,899
流動負債合計	12,760,967	11,890,549	870,418
2. 固定負債			
退職給付引当金	25,530,825	27,834,910	△ 2,304,085
固定負債合計	25,530,825	27,834,910	△ 2,304,085
負債合計	38,291,792	39,725,459	△ 1,433,667
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	756,001,629	788,501,478	△ 32,499,849
(うち基本財産への充当額)	(150,000,000)	(150,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(261,287,060)	(253,687,060)	(7,600,000)
正味財産合計	756,001,629	788,501,478	△ 32,499,849
負債及び正味財産合計	794,293,421	828,226,937	△ 33,933,516

(2) 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	605,674	603,795	1,879
会費収入	231,706,500	236,700,000	△ 4,993,500
事業収入	139,228,612	134,913,240	4,315,372
補助金等収入	66,619,420	83,650,702	△ 17,031,282
協賛金寄付金収入	27,650,000	27,500,000	150,000
雑収入	8,998,339	3,778,782	5,219,557
経常収益計	474,808,545	487,146,519	△ 12,337,974
(2) 経常費用			
事業費	202,880,149	239,164,675	△ 36,284,526
管理費	144,912,590	158,240,593	△ 13,328,003
加盟費	829,500	1,404,600	△ 575,100
競技力向上費	133,895,369	146,758,786	△ 12,863,417
テニスコート関係費	1,333,772	1,990,708	△ 656,936
減価償却費	23,457,014	23,401,894	55,120
経常費用計	507,308,394	570,961,256	△ 63,652,862
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 32,499,849	△ 83,814,737	51,314,888
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0
当期経常増減額	△ 32,499,849	△ 83,814,737	51,314,888
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 32,499,849	△ 83,814,737	51,314,888
一般正味財産期首残高	788,501,478	872,316,215	△ 83,814,737
一般正味財産期末残高	756,001,629	788,501,478	△ 32,499,849
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	756,001,629	788,501,478	△ 32,499,849

(3)技術等級認定実績

令和6年3月31日現在

加盟団体		名誉 指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
1	北海道	0	0	5	0	11	1	15	35	13	0	80
2	青 森	0	0	0	0	8	0	0	8	17	43	76
3	岩 手	0	0	2	0	1	1	12	16	19	11	62
4	宮 城	0	0	9	0	13	0	2	33	16	0	73
5	秋 田	0	0	0	0	10	2	11	48	32	0	103
6	山 形	0	0	0	0	7	0	0	12	78	0	97
7	福 島	0	0	1	0	2	0	2	2	26	0	33
8	茨 城	0	0	1	1	19	0	4	49	40	15	129
9	栃 木	0	0	0	0	9	0	1	10	37	32	89
10	群 馬	0	0	1	0	9	0	5	50	26	81	172
11	埼 玉	0	0	0	1	15	0	58	138	325	114	651
12	千 葉	0	0	0	1	17	0	1	18	25	41	103
13	東 京	0	0	2	0	9	0	9	29	24	18	91
14	神奈川	0	1	2	0	3	0	2	31	32	0	71
15	山 梨	0	0	0	0	9	0	6	46	17	67	145
16	新 潟	0	0	0	0	2	0	7	12	27	0	48
17	長 野	0	0	1	0	4	0	13	11	41	64	134
18	富 山	0	0	1	0	1	0	5	21	12	73	113
19	石 川	0	0	0	0	8	0	4	16	35	9	72
20	福 井	0	0	1	0	5	1	0	3	1	14	25
21	静 岡	0	0	2	0	13	0	10	37	39	1	102
22	愛 知	0	0	0	0	12	6	8	36	18	69	149
23	三 重	0	0	5	0	9	0	4	11	31	19	79
24	岐 阜	0	0	3	0	8	0	12	50	80	27	180
25	滋 賀	0	0	1	0	4	0	0	2	4	0	11
26	京 都	0	0	4	1	5	0	1	16	13	21	61
27	大 阪	0	0	0	0	11	0	1	64	25	11	112
28	兵 庫	0	0	5	0	7	2	26	150	26	55	271
29	奈 良	0	0	4	0	9	0	5	26	20	7	71
30	和歌山	0	0	6	0	4	0	1	35	20	75	141
31	鳥 取	0	0	0	0	2	0	2	15	1	48	68
32	島 根	0	0	0	0	5	0	3	8	0	27	43
33	岡 山	0	0	2	0	14	0	12	54	29	0	111
34	広 島	0	0	6	0	2	0	2	59	48	36	153
35	山 口	0	0	1	0	5	0	20	100	33	6	165
36	徳 島	0	0	0	0	3	0	2	12	29	0	46
37	香 川	0	0	12	0	13	0	0	6	22	25	78
38	愛 媛	0	0	1	0	4	0	3	21	19	78	126
39	高 知	0	0	1	0	5	0	2	11	1	16	36
40	福 岡	0	0	1	0	3	0	2	15	31	0	52
41	佐 賀	0	0	1	0	0	0	1	4	38	0	44
42	長 崎	0	0	1	0	2	0	0	22	20	19	64
43	熊 本	0	0	0	0	8	0	10	101	133	278	530
44	大 分	0	0	3	0	5	0	3	9	30	0	50
45	宮 崎	0	0	1	0	6	0	4	58	75	0	144
46	鹿児島	0	0	1	0	2	0	2	8	31	8	52
47	沖 縄	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
48	日本学連	0	0	30	0	44	0	14	61	0	8	157
合 計		0	1	117	4	367	13	307	1,579	1,664	1,416	5,468
前年度		0	0	74	22	300	143	264	1,001	1,661	1,734	5,199

(4) 公認審判員認定実績

令和6年3月31日現在

No	加盟団体	認定者数									合計
		マスター レフェリー	マスター アンパイヤー	1 級審判員		2 級審判員				ジュニア	
				新規	更新	一般	高校	一般	高校		
						新規		更新	Jr 移行		
1	北海道	4	0	2	6	115	156	137	495	1,802	2,717
2	青 森	0	0	2	5	61	186	29	48	146	477
3	岩 手	0	0	3	1	25	15	65	125	963	1,197
4	宮 城	7	0	3	2	73	194	100	376	1,930	2,685
5	秋 田	2	0	2	7	64	41	58	180	565	919
6	山 形	3	1	1	4	68	39	47	207	1,362	1,732
7	福 島	0	0	0	4	67	55	71	285	1,677	2,159
8	茨 城	3	1	2	3	142	580	110	28	192	1,061
9	栃 木	1	0	2	8	119	1	63	0	1,609	1,803
10	群 馬	4	7	5	7	56	450	62	109	240	940
11	埼 玉	1	10	0	7	227	778	394	349	4,480	6,246
12	千 葉	1	0	1	2	162	433	135	390	2,830	3,954
13	東 京	2	21	2	4	189	136	193	35	84	666
14	神奈川	2	5	4	8	91	157	141	517	6,292	7,217
15	山 梨	1	1	2	1	58	167	36	64	49	379
16	新 潟	1	6	2	4	67	40	65	292	1,920	2,397
17	長 野	3	0	3	3	135	420	133	45	2,412	3,154
18	富 山	0	0	1	1	38	283	46	0	80	449
19	石 川	0	2	0	3	35	123	52	174	656	1,045
20	福 井	0	0	1	4	12	80	16	16	24	153
21	静 岡	1	9	2	7	106	72	151	363	3,152	3,863
22	愛 知	1	0	9	5	230	1,299	247	72	160	2,023
23	三 重	0	0	2	1	34	140	27	32	85	321
24	岐 阜	0	0	0	5	29	411	47	20	201	713
25	滋 賀	0	0	12	3	4	0	0	0	0	19
26	京 都	0	0	3	3	35	346	59	47	70	563
27	大 阪	0	0	0	5	50	194	184	23	61	517
28	兵 庫	0	0	5	5	175	3	360	0	14	562
29	奈 良	0	0	0	3	85	224	72	21	22	427
30	和歌山	0	0	3	4	79	4	119	19	150	378
31	鳥 取	1	0	1	4	60	4	23	37	89	219
32	島 根	3	0	1	0	17	209	14	31	43	318
33	岡 山	5	4	5	6	87	596	38	69	86	896
34	広 島	2	0	4	7	55	686	136	57	62	1,009
35	山 口	4	0	3	0	99	496	90	114	62	868
36	徳 島	0	0	2	1	38	91	9	38	27	206
37	香 川	0	0	0	0	0	240	0	66	99	405
38	愛 媛	2	0	0	1	25	85	32	23	204	372
39	高 知	0	0	0	2	31	83	29	17	16	178
40	福 岡	0	0	7	0	121	420	132	104	436	1,220
41	佐 賀	0	0	11	1	24	35	52	185	624	932
42	長 崎	0	1	12	6	103	141	124	277	1,003	1,667
43	熊 本	0	0	2	4	16	17	61	5	1,584	1,689
44	大 分	1	0	2	7	12	46	52	77	447	644
45	宮 崎	0	0	2	3	23	124	54	87	76	369
46	鹿児島	0	0	4	8	64	43	111	34	140	404
47	沖 縄	0	0	0	0	11	39	28	4	17	99
48	日本学連	0	0	0	0	322	0	641	0	0	963
合計		55	68	130	175	3,739	10,382	4,845	5,557	38,243	63,194
前年度		41	69	52	162	4,100	11,380	5,172	7,887	28,508	57,371

(5) 会員登録集計表(令和5年度)

令和6年3月31日現在

支部名	指導者	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合 計	
	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	385	90	1,555	20	464	141	6,167	89	2,433	4	97	2	23	346	11,124
青 森	246	31	456	7	197	70	2,520	19	691	3	35	1	2	131	4,147
岩 手	364	49	796	23	371	80	3,052	25	1,145		25		9	177	5,762
宮 城	154	36	698	12	354	57	3,792	4	1,955	1	3	1	13	111	6,969
秋 田	295	18	478	14	321	48	1,803	25	663	1	23	1	20	107	3,603
山 形	153	19	550	13	271	43	1,967	33	785		3		0	108	3,729
福 島	396	35	533	19	399	77	4,660	28	1,168	1	26		1	160	7,183
茨 城	637	48	956	9	471	130	8,980	25	1,612	3	20	1	3	216	12,679
栃 木	178	33	676	8	372	70	5,014	39	1,035	2	14		5	152	7,294
群 馬	134	26	807	12	451	87	4,475	30	828	1	15		1	156	6,711
埼 玉	519	154	3,371	22	793	81	15,788	65	3,329		1		189	322	23,990
千 葉	688	52	1,528	14	464	139	13,855	78	2,294		13		13	283	18,855
東 京	343	87	3,004	11	362	88	3,575	35	3,535	3	0		49	224	10,868
神奈川	458	63	896	11	351	198	16,428	109	2,535	2	0		0	383	20,668
山 梨	94	24	398	7	228	26	601	4	603	2	0	3	4	66	1,928
新 潟	189	24	659	13	304	91	3,220	20	910	1	0	1	1	150	5,283
長 野	189	17	1,250	10	311	67	3,095	30	1,201	3	15		3	127	6,064
富 山	170	10	299	9	258	26	1,899	23	731	1	0	2	25	71	3,382
石 川	49	26	476	4	302	34	2,450	18	810		0	2	52	84	4,139
福 井	57	12	237	1	93	16	720	10	354	1	1		3	40	1,465
静 岡	792	49	1,351	16	552	148	10,285	69	1,185	1	17	1	32	284	14,214
愛 知	335	80	2,226	9	597	98	13,996	83	4,463	11	1		0	281	21,618
三 重	116	26	484	10	232	77	4,650	20	1,094		15		0	133	6,591
岐 阜	47	41	820	13	296	211	4,182	28	1,387	1	0		1	294	6,733
滋 賀	94	20	364	5	274	27	742	18	1,142	1	0		0	71	2,616
京 都	122	34	652	3	280	22	956	8	1,152	1	20		2	68	3,184
大 阪	458	66	1,178	7	148	158	9,354	93	2,241	9	0	2	5	335	13,384
兵 庫	276	49	1,541	15	524	151	12,255	68	3,952	7	75		6	290	18,629
奈 良	114	16	706	6	91	46	2,241	14	697		36	1	8	83	3,893
和歌山	186	31	709	11	240	57	2,300	19	609	1	27		0	119	4,071
鳥 取	83	13	371	6	149	13	513	7	373		11	1	1	40	1,501
島 根	70	19	334	3	215	30	1,388	10	718	2	0	1	0	65	2,725
岡 山	221	40	458	11	266	86	4,748	26	1,685	6	0		30	169	7,408
広 島	440	73	1,244	8	186	84	3,566	55	2,023	4	32		29	224	7,520
山 口	215	40	1,111	7	209	45	2,805	31	1,287	7	116		5	130	5,748
徳 島	199	10	249	5	112	54	1,621	15	377	1	35		0	85	2,593
香 川	37	21	305	5	211	21	1,786	16	478	2	8		0	65	2,825
愛 媛	143	34	596	7	305	77	2,808	33	1,029	4	46	3	11	158	4,938
高 知	47	31	336	4	88	10	476	11	314	1	28		9	57	1,298
福 岡	621	49	976	10	271	125	6,054	96	1,963	1	72	1	10	282	9,967
佐 賀	185	25	306	8	276	43	2,020	7	587		0		0	83	3,374
長 崎	415	49	788	6	278	89	3,288	92	1,304	2	22	2	58	240	6,153
熊 本	499	49	717	17	374	98	3,744	35	919	1	23	2	25	202	6,301
大 分	157	26	494	10	138	52	1,524	14	564	2	0	3	6	107	2,883
宮 崎	333	26	435	16	361	109	2,389	24	682	3	0		0	178	4,200
鹿児島	335	47	987	25	334	130	3,122	47	798	4	32	2	27	255	5,635
沖 縄	89	19	536	6	96	18	412	16	277	1	2	1	11	61	1,423
日本学連	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	305	5,561	305	5,600
合 計	12,366	1,837	39,897	488	14,240	3,648	207,286	1,664	61,917	102	909	339	6,253	8,078	342,868
令和4年度	10,770	2,999	40,233	866	14,484	5,079	206,153	2,960	67,207	45	841	406	6,669	12,355	346,357

飛びも新次元へ



far beyond ordinary

GEOBREAK
OFFICIAL WEB SITE



2nd GENERATION

GEOBREAK

50 $\frac{1}{2}$ /50S/50V

ジオブレイク50バーサス・50S・50V / ¥23,100(税込) / 2024年2月中旬発売予定 / 日本製

COUNTERBALANCE UNIT

GYROBURST
SYSTEM 2.0

SERVO FILTER

www.yonex.co.jp



YONEX JAPAN



yy_softtennis



yonex_jp



2024

仁川コリアカップ国際ソフトテニス大会

■6月16日～24日 韓国・仁川市 Yeolwoomul Tennis Center

男子は3種別で優勝を飾る 女子も同3種別で準優勝

他国より多くの金メダルを獲得することと世界選手権大会へ向けての強化という目的を持って臨んだ今大会。結果は、男子が国別対抗戦、シングルス、ダブルスで優勝を飾り、女子も同3種別で準優勝。ミックスダブルスは優勝と準優勝の好成績をおさめました。

なお、大会期間中に参加国が集まってトレーニングセミナーが行われました。

大会の成果

男子の関わる4種目全てにおいてタイトルを獲得できたこと、さらには、全体を通して海外選手にほとんど敗戦しなかったこと、本大会へ向けての準備期間がほとんどなく、コンディショニングが難しい中、最善の準備をして臨み戦い抜いてくれた選手に感謝したい。

昨年取り組んできたハードコートでの取り組みに加え、今年の世界選手権大会を見据えて強化してきた技術や戦術を落とし込み、結果へと繋げてくれた。

また、選手それぞれが課題としていることに果敢にトライし、今後の強化材料へと繋げてくれた。コートサーフェスこそ違おうが、世界選手権大会へ向けての大きな成果になったと考えている。男子育成枠として出



男子シングルスで優勝と準優勝を飾った日本男子

日程	午前	午後	夜
6/16(日)		集合	
6/17(月)	移動	コンディショニング	
6/18(火)	移動	公式練習	ミーティング
6/19(水)	シングルス1日目	シングルス1日目	ミーティング
6/20(木)	シングルス2日目	ダブルス1日目	ミーティング
6/21(金)	ダブルス2日目	ミックスダブルス	ミーティング
6/22(土)	国別対抗戦	国別対抗戦	ミーティング
6/23(日)	各種目決勝戦	各種目決勝戦	
6/24(月)	移動、解散		

日本選手団

男子監督	篠原 秀典	男子コーチ	増田 健人
男子トレーナー	兼平 智孝、男子選手8名		
女子監督	佐藤 英宣	女子コーチ	三浦 洋美
女子トレーナー	市山 裕梨、女子選手6名		
マネージャー	川上 晃司		

場した選手についても、国際大会で得た知識や経験を必ず次へ活かして行って欲しい。

また、相手国(特に韓国・中華台北)に関して、ベストメンバーではないものの、今まで知り得なかった情報を手に入れることができた。よく分析し、世界選手権へ向けての強化方針へと活用していきたい。

今後の課題

本大会を通して、実戦における評価をすることができたことから、選手それぞれに課題を提示し、国内戦においても国際大会を意識し、戦術・戦略の幅を広げた戦い方を実行することを求めている。

また、今年度の最終目標である世界選手権までは限られた時間と合宿を残すのみとなっているので、本番において自信を持ってプレーできるレベルへと質と精度を向上させていきたい。

謝辞

今回の大会にあたり、オフィシャルサプライヤーで

あるヨネックス様には、ストリングサービスなどにより、選手のパフォーマンス発揮のためのサポートをいただいた。

この場をお借りして、開催いただいた韓国連盟の方々はじめ、大会運営やチームの活動へ関わってくださったすべてのの方々に対して感謝したい。



日本男子は男子ダブルスでも1位と2位を独占した

結 果			
男子シングルス		女子シングルス	
優勝	船水 颯人	準優勝	前田 梨緒
準優勝	上松 俊貴		
男子ダブルス		女子ダブルス	
優勝	船水・上松ペア	準優勝	浪岡・根岸ペア
準優勝	広岡・丸山ペア		
第3位	上岡・内田ペア		
ミックスダブルス			
優勝	上松・前田ペア	準優勝	内田・浪岡ペア
男子国別対抗戦		女子国別対抗戦	
優勝	日本	準優勝	日本



ミックスダブルスでも圧倒的な強さを見せつけた日本

国際トレーニングセミナー開催

大会期間中の6月16日に中国、インドネシア、中華台北、タイ、モンゴル、日本の6か国が集まってトレーニングセミナーが開催されました。国際間での情報交換という画期的なイベントの内容を報告します。

午前は講義（講師はKyoung-Soo Cho (DGB Daegu Bank Soft Team)）が行われ、午後は午前の講義に関する内容を確認しました。

午前の講義内容

○はじめに・・・東南アジアの発展を韓国・日本・中華台北でサポートしてきた歴史がある。コーチングセミナーというより、皆さんと一緒に発展へ向けて取り組めるものにしたいと思います。また、方向性をこの場を借りて共有できればと思います。

○ソフトテニス競技の国民性はアジア諸国に向けてマッチしている。ネット+ラケット競技。東南アジアで発展している競技は同じ様な共通を持つ競技が多い。

大きなパワーではなく、適切な力でコンタクトすることでパフォーマンスが発揮されてゲームが行える競技特性がソフトテニスの特徴である。

○硬式テニスとソフトテニスの違い
(ボール)

硬式テニス競技は、反発係数が高くスピードがあり、パワーが必要。ソフトテニスはスキルが大切である。ボールを落として地面でバウンドさせた際の差異と、ラケットを地面に置いた状態でのストリングの部分では更に違いが大きく現れる為、これがゲームにおけるスイングだと更にスピードが増すのは想像し易いはずである。

(スイング)

テニスのスイングとソフトテニスのスイングの違い(ドライブ・スライス・フラット)。大きな違いは、アップスイングではなく、並行スイングにある。また、硬式テニスに比べてソフトテニスはロビングが速い。ソフトテニスのインパクトで何が起きているか・・・テニスに比べてストリングの乗る時間が長い。

○スイングに大切なことは2つ

- 1) インパクトで軸を固定して打つ打ち方。
- 2) 軸を移動してボールへ力を加える方法

スピンを与えるために上方へのエネルギーを生じさせるのが硬式テニスである。一方、ソフトテニスは並行スイングが必要である。理由は、バウンドが低く順応するためには必然のこと。

○サービス文化の違い

なぜセカンドサービスが弱いのか。ネットの高さやトスの上げなおしができない文化の違いが関係している。

ソフトテニスにおけるキックサービスは、回転が掛かりすぎてボールがフライアウトしてしまうので注意が必要である。

○用具の違い

ラケットもボールも硬式テニスより軽い。パワーによる技術の特殊性がある。ラケットとボールが軽いいため反発力が低い。これを解決するために、ソフトテニスは頻繁に使用される独自の技術を開発し、確立された。

○ゲームの特異性

テニスに比べてゲーム数やセット数が少ないため、選手は試合中に強い心理的影響を受ける。もちろん、試合の分析とその応用はソフトテニス独自のやり方を踏襲している。強いて言えば、1ポイントへの重要性が高く、ダブルフォルトの失点がゲームを左右することがある。

○質疑応答

質問1 (インドネシアスタッフ) → フォロースルーの仕方を教えて欲しい。

タイランドスタッフ・モンゴルスタッフ・インドネシアスタッフ

質問2 (タイランドスタッフ・モンゴルスタッフ・イ

ンドネシアスタッフ) → バックハンドストロークのグリップを教えて欲しい。

- ・グリップはセミウエスタン。
- ・硬式テニスはアウトサイドの筋肉を使用、ソフトテニスはインサイドアウトサイドの両方を使う。硬式テニスはショートパワーだが、ソフトテニスは両方使うから長い時間パワーが伝わる。押し込んでいける。(写真参照) 人差し指の使用方法が違う。遠心力が必要なのでリストは使う。

東南アジアの普及と強化が今後のソフトテニスには重要な課題である。このような他国が集まる協議会が定期的に行われるように努力していく。午後から実技を行う。

【まとめ】

国際普及を行うにあたり、テニスを題材に使用して、その文化を知ったうえで発言していくことで、よりリアリティーがあり説得力も併せ持つことが重要だと感じた。

歴史認識については、テニスを模倣したものと表現されるだけにとどまり、課題が浮き彫りになった。



グリップに関する質疑応答の中で出てきた様々なグリップ



各国から集まった参加者達

午後の実技

午後は午前講義を行った内容の確認を行った。

- 1) テニスの選手にテニスラケットとテニスボールにてラリー
- 2) ソフトテニスの打ち方をテニスラケットとテニスボールにてラリー
- 3) ソフトテニスラケットでテニスボールを使っでのラリー
- 4) ソフトテニスラケットとソフトテニスボールにてラリー

上記の工程により、硬式テニスの技術とソフトテニスの違いを理解したうえで、フォアハンド・バックハンドストロークのコーチングへ移行した。

フォアハンドストロークは各国の選手と韓国の選手が1本打ちを行い、国の打ち方を見ながら個々の技術の発展をコーチングしている姿を見て聞いて、試行錯誤する実地となった。

バックハンドストロークも同じように行われたが、シュートボールとロビング・アングルの3種類の打ち方について議論された。また、コースの打ち分けとグリップについて指摘がなされ、テニス選手のグリップでは、種類が限定されることとスピードの減速が否めない点が発言された。

その後、韓国の技術以外に、日本・中華台北の技術へ話が及び、私が日本で行われているストロークの基本的な打ち方を紹介。中でも大きな違いは、リストの固定にあることを伝えた。しかしながら強化の過程で自然と使用するようになることも申し伝えた。

また、バックハンドストロークは身体の回転運動を主に行うことで、振り遅れが生じる事象が多く課題があることを紹介した。

その後、中華台北の打ち方の紹介をリーチャー・ホン氏 (U21ナショナルコーチ) よりあった。ストロークは回転し終えた後にスイングを始めるというものであり、捻転動作の回転スピードを上げた後にラケットを加速させるとなると振り遅れの可能性が出てくる印象が強いが、興味深いものであった。

最後に今回講師をしていただいた、Kyoung-Soo Cho氏より、正解は無く、各国の文化それぞれの特色の打ち方が形成されていくべきであり、その育成強化が進むことを我々も応援していくと締めくくり散会と

なった。

【まとめ】

改めて、各国のソフトテニス競技への熱量や、技術力の違いについて考えさせられる機会となった。また、大会を通して参加国の中には、まだ後進国といった選手も数多くいる中で、ソフトテニス発祥の日本が、先頭に立って国際普及へ尽力して、国技を盛り上げる役割を担っていく責任があることを同時に感じた次第である。

指導者の育成という観点からは、国内に留まらず、国際普及への位置付けとしての育成を、計画的に継続性を持って取り組むことが必要だと感じたセミナーであった。

参加に際して、韓国連盟の手厚いサポート及び、朴氏 (佐久大学) の多岐に渡るホスピタリティーに心より感謝致します。



午後の実技風景



MIZUNO SOFT TENNIS

REACH BEYOND

上岡 俊介 (Up Rise)

どこからでも
決める。



特設サイトはこちら

For allround player

D FORCE VS-50

2024年4月発売予定 jpn.mizuno.com/ 0120-320-799



目をケアするレンズシリーズ。

+ eye care

目にも、肌にも、UVケアを。

メガネで紫外線対策しませんか？



クリアな「ブルーライト&UV対策」 ピュアブルー UV

紫外線とブルーライトのしっかりケアと
無色レンズ同等のクリアさを両立。



紫外線



ナチュラル
ブルーライト

お好きなレンズカラーを
選べます

紫外線で色が変わる トランジションズ

室内ではクリア、屋外では濃度が変化するから
一本でどんな場所でも快適な視界を維持。



紫外線



ブルーライト



まぶしさ



オールインワン レンズコーティング シーコートネクスト・リヴィール

一日中目を保護しながら
クリアな視界と見やすさを実現。



紫外線



ブルーライト



明るさサポート

Nikon レンズウェア

株式会社 ニコン・エシロール
TEL.0570-025-700
www.nikon-lenswear.jp

→
詳しくは
こちら



ソフトテニスの 新時代に向けて



生誕から140年目を迎えるソフトテニスは、運動部活動を基盤として国内への普及・発展を遂げてきました。しかし、令和5年度から部活動の地域移行が開始されており、青少年たちのソフトテニス活動には格差が生じています。ソフトテニスの存続をかけた「団体戦」が始まっています。

中学生が「いつでも・どこでも・誰とでも」ソフトテニスを楽しむことができる「生涯スポーツ社会」を創造していきましょう！

運動部活動地域移行推進委員会 委員長 **小峯 秋二**

発想豊かな競技

令和6年6月5日に、(公財)日本中学校体育連盟様より「持続可能な全国中学校体育大会の運営等にかかる改革について」が明示され、令和9年度以降の大会から部活動設置率が20%以下の9競技が開催されないことが明らかとなりました。

令和4年度の調査では、全国のソフトテニス部の設置率は、女子は65%、男子は52%であることから、参加者数及び開催経費を30%削減し規模を縮小した形で開催されるということですが、令和12年度にはさらなる見直しが行われるということです。

さて、発想豊かな競技を目指した施策には、(1)勝利志向を目的としたU-15大会の開催と(2)レクリ

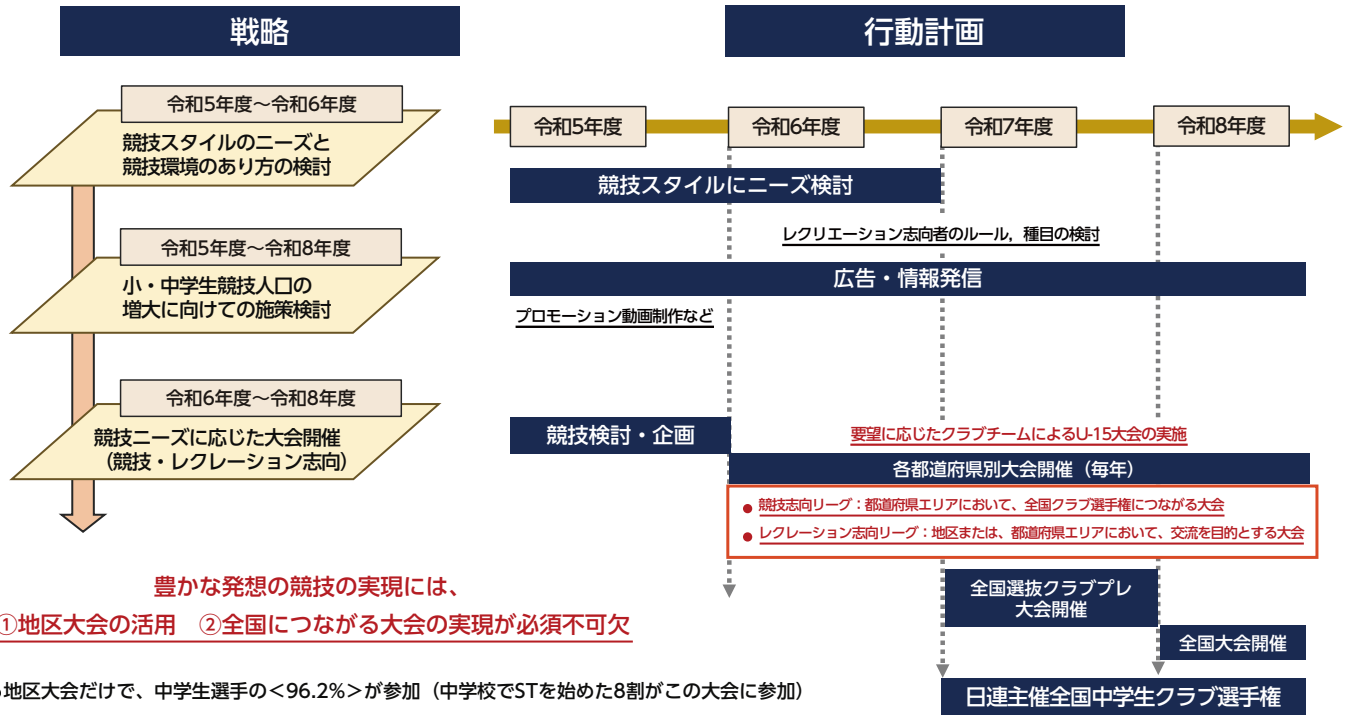
エーション志向を目的としたU-15大会の開催の2通りがあります。私たちが実施した調査の結果からは、①小学生時代に経験があること。②地域クラブ活動に参加していること。③地方ブロック大会への入賞や参加経験がある中学生は、ソフトテニスを継続する意思が高いことが明らかになっています。

現在、令和8年度に開催予定のNF主催の全国クラブチーム大会の開催を検討しています。加盟団体の皆さまにおかれましては、多くの中学生が継続したくなるような都道府県や地方ブロック規模のイベントの開催に向けた検討をどうぞ宜しくお願い致します。

(公財) 日本ソフトテニス連盟

運動部活動地域移行推進計画

～発想豊かな競技～

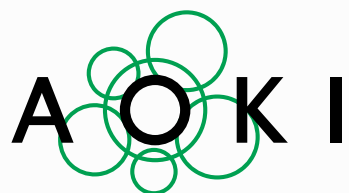


豊かな発想の競技の実現には、

①地区大会の活用 ②全国につながる大会の実現が必須不可欠

- 地区大会だけで、中学生選手の＜96.2%＞が参加（中学校でSTを始めた8割がこの大会に参加）
＝大会参加人数が最も多く、レクリエーション志向と競技志向が混ざっているため、交流大会がST普及に貢献
- 地区大会から都道府県大会につながる選手は約2割（21.5%）で競技志向が強いと予想される
＝ただ、現時点では地域クラブが多くないことを考慮し、競技志向大会＆レクリエーション志向大会は都道府県クラブ大会からスタートする
- 都道府県クラブ大会（競技志向）での選抜チームは、（日連主催）全国中学校クラブ選手権に参加する（上位大会がないとクラブ普及は活性化しない）





果物のある生活を。



株式会社青木商店

フルーツバー事業

183 店舗 北海道 7店舗 東北エリア 20店舗 関東エリア 57店舗
北陸・甲信越エリア 14 店舗 東海エリア 32 店舗 近畿エリア 29 店舗
中国エリア 7 店舗 四国エリア 5 店舗 九州・沖縄エリア 12 店舗



フルーツタルト&カフェ事業

16 店舗 福島県 9 店舗 宮城県 1 店舗 茨城県 1 店舗
埼玉県 1 店舗 東京都 3 店舗 神奈川県 1 店舗



フルーツジュース&デリ事業

1 店舗 東京都 1 店舗



FRUITS IN LIFE
by fruits shop AOKI since 1924

フルーツショップ事業

7 店舗 福島県 4 店舗 宮城県 1 店舗 茨城県 1 店舗
東京都 1 店舗



第6回 ソフトテニス トレーナー 研修会 報告 ～後編～

トレーナー研修会は、全国各地でソフトテニス競技のトレーナーとして関わっている方々に連盟のトレーナー活動を紹介し、ソフトテニス競技の底上げやトレーナー間の連携、共有を目指し開催している。

今年度は対面開催および後日配信にて、3月23日(土)に22名(対面12名, 配信7名)が参加。研修会を開催した。ここでは、セッション1の内容について報告する。

アジア競技大会におけるトレーナー・医科学サポート

女子情報戦略サポート

永野 康治 (スポーツ科学部会)

女子の情報戦略サポートでは、合宿での講義および映像撮影サポートを3回、オンラインでの講義を1回、コリアカップと杭州アジア競技大会への帯同を行った。

合宿では、韓国予選会やコリアカップの試合映像から得点パターン、失点パターンの分析を行い、その映像を提示することで対戦相手の傾向や対策の情報源とした。特にレシーブコースが得失点への関与が大きかった試合については、得失点ごとにレシーブコース

を図示し、その傾向を明らかにした(図2)。また、連続失点の場面も提示し、その際の対応方法についても検討した。

大会での帯同時には対戦国の試合映像の撮影を行い、撮影した映像はコーチの協力も得ながらスマートフォンやタブレットに転送し、即時のフィードバックを行った。試合結果はすばらしいものとなり、事前のサポートを含めた医科学サポートも有効に機能したと考えられる。

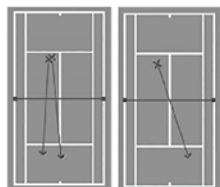
特に、監督・コーチとの連携が深まり、選手・スタッフが要望するデータの提供が的確に可能になったことが成果としてあげられる。

図2 サービスゲームにおける得点時と失点時の相手レシーブコース

尾上サーブ イミンソンレシーブ

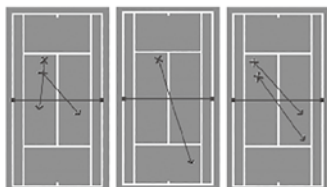
・デュースサイド得点

1G 3G 5G



・デュースサイド失点

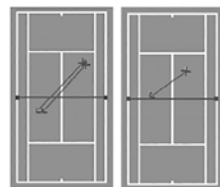
1G 3G 5G



尾上サーブ イミンソンレシーブ

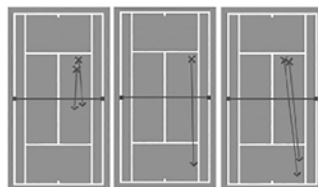
・アドサイド得点

1G 3G 5G



・アドサイド失点

1G 3G 5G



心理サポート

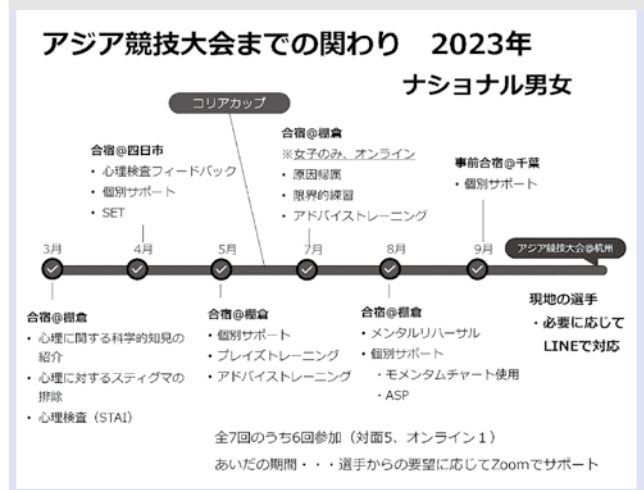
村山 孝之 (スポーツ科学部会)

アジア競技大会までの心理支援として合宿参加6回、遠隔サポート複数回を行った(図3)。

1回目は運動心理学に関する科学的知見の紹介、心理への偏見の排除を狙いとした講習を行うとともに、心理検査を実施した。2回目は心理検査のフィードバック、注意制御機能を向上させる練習、個別サポートを行った(個別サポートはこれ以降も実施)。3回目は、プレイズ・アドバイストレーニングを実施した。

コリアカップ後の4回目は、結果に対する原因帰属と限界的練習の重要性を再確認した。5回目は、“想定外を想定内にする”ためのメンタルリハーサルを詳細に行った。また、モメンタムチャートを活用した個別サポートも試みた。6回目の直前合宿では、個別サポートにてパフォーマンス発揮のための行動と思考を再確認した。

図3 アジア競技大会2023までの心理サポートの概要



大会まで、選手、スタッフ、医科学専門家が高いレベルで連携して一つのチームとして機能していたように思う。可能性への挑戦を今後も高い次元で支援できるよう、医科学支援(心理)のレベルもさらにアップデートしていく予定である。

大会サポート総括

川上 晃司 (日本代表マネージャー)

今回のアジア競技大会は、ソフトテニス競技にとって最高の成績と言っても過言ではないものだった。長年関わってきたが、スタッフの連携がチーム運営にうまく機能していると思う。私がマネージャーとして動いていることもトレーナーの3人体制という面からも

サポートが可能であり、さらにはスポーツ科学部会のスタッフのフットワークも軽く、必要な情報をチームに提供してくれている。

メンタル部分でのサポートも合宿から必要に応じて実施され、本当にチームジャパンとして機能している成果ともいえる。次年度は世界選手権だが、さらにチームワークを良くし、全種目制覇という大きな目標にチャレンジできればと思う。

まとめ

2023年度の大きな成果であるアジア競技大会における、トレーナーサポートや医科学サポートについて参加者および関係者で改めて共有することができ、また、それらの重要性を再認識することができた。

これらのサポートにより、選手がより万全の状態で行事に臨むことができるため、より充実したサポートのため今後も取り組む必要が感じられた会となった。

バッジ・カップ・トロフィー・楯・旗・ネームプレート・ギフト品・各種記念品



株式会社

秋 場 徹 章

〒110-0003 台東区根岸4-2-4 2F

TEL03(3873)1955 FAX03(3873)1599



Developing Technology into the Future

私たちは、トータルな視野でシステムを捉えお客様の個別のニーズに的確に対応します。



カメラモジュール・水晶デバイス・センサデバイスなど、電子部品の生産設備を複合的な技術と視点で、計画から開発・運用サポートまでのソリューション型製品として提供しています。

アクティブアライメント装置 AAAS860

CMOSセンサへVCMユニットを組み合わせ、6軸でアクティブアライメント後、接着剤の仮硬化を行います。



レンズ組み立て装置 ALDS860

複数枚のレンズを一枚ずつ搭載し、接着剤塗布・UV硬化を行い、収納トレイに収納を行います。



リッド仮付け・真空アニール・真空シーム溶接装置装置 AVSS860

水晶振動子、MEMSセンサなどのセラミックパッケージにリッド仮付け・真空アニール後、真空中で気密封止を行います。



第53回 ゴーセン杯争奪

ハイスクールジャパンカップ2024

■6月21日～23日 北海道・札幌市 円山庭球場

北海道ソフトテニス連盟



シングルスは男子が植田選手(高田商)、女子は大和選手(東北)が優勝
ダブルスは男子が植田・結城ペア(高田商)、女子は前川・塚本ペア(広島翔洋)が制す

6月下旬に北海道・札幌市で開催された今大会。
3日間にわたって熱戦が繰り広げられました。詳細
は以下の通りです。



会場の円山庭球場にはたくさんの観客が集まった



男子シングルスで優勝を飾った植田璃音(奈良・高田商)と
女子シングルスで優勝を遂げた大和美女(宮城・東北)



男子ダブルスで優勝した植田璃音・結城琉衣ペア(奈良・高田商)と
女子ダブルスで優勝を飾った前川愛生・塚本七海ペア(広島・広島翔洋)

男子シングルス

植田 璃音
奈良県 高田商

1	團 塚 虹 陽	北海道	滝 川 西	1	常 盤 奏 翔	北海道	滝 川 西	33
2	花 垣 陸	徳 島	富 岡 東	1	吉 田 拓 翔	福 島	田 村	34
3	小 林 直 樹	和 歌 山	和 歌 山 北	2	白 濱 凖 騎	長 崎	長 崎 南 山	35
4	乾 楓 雅	静 岡	富 士 宮 北	2	河 野 晃 大	鹿 児 島	鹿 児 島 実	36
5	高 嶋 雅 弥	茨 城	霞 ケ 浦	0	坂 手 拓 海	京 都	京 都 文 教	37
6	岩 吉 海 利	長 野	長 野 俊 英	2	岩 永 優 真	広 島	尾 道	38
7	新 原 慶	山 口	宇 部	1	尾 島 涼 太	島 根	松 江 工	39
8	樋 口 大 翔	奈 良	高 田 商	2	大 家 健 慎	富 山	桜 井	40
9	荒 関 拓 斗	青 森	八 戸 工 大 一	1	岩 城 啓 太	北 海 道	と わ の 森 三 愛	41
10	小 山 寛 晴	香 川	尽 誠 学 園	1	福 岡 直 翔	和 歌 山	近 大 和 歌 山	42
11	竹 村 純 生	北 海 道	北 科 大	0	大 河 原 兜	群 馬	高 崎	43
12	有 村 翔 空	山 梨	笛 吹	3	福 田 喜 大	大 阪	上 宮	44
13	林 宏 介	大 阪	上 宮	3	岩 田 悠 聖	兵 庫	市 尼 崎	45
14	大 塚 陸 玖	群 馬	高 崎 商	0	保 利 彰 大	栃 木	宇 都 宮 工	46
15	花 田 健 心	岐 阜	中 京	2	伊 藤 麗 央	秋 田	大 曲	47
16	木 本 琉 偉	高 知	明 徳 義 塾	0	松 尾 優 希	佐 賀	嬉 野	48
17	下 村 駿 太	鳥 取	米 子 松 蔭	2	坂 本 桔 平	北 海 道	岩 見 沢 東	49
18	猪 股 悠 志	秋 田	秋 田 北 鷹	0	伊 藤 駿 平	福 岡	東 福 岡	50
19	野 中 翔 太	熊 本	ルーテル学院	3	植 田 璃 音	奈 良	高 田 商	51
20	毛 利 航 太	愛 媛	新 田	3	高 澤 颯	新 潟	北 越	52
21	長 濱 瑠 飛	愛 知	岡 崎 城 西	2	森 良 輔	宮 崎	都 城 商	53
22	川 崎 康 平	宮 崎	都 城 商	1	山 本 隼 平	山 口	南 陽 工	54
23	宇 野 廉 太 朗	北 海 道	と わ の 森 三 愛	2	細 川 大 峨	沖 縄	那 覇 西	55
24	南 龍 之 介	三 重	三 重	3	紀 野 文 汰	大 分	大 分 商	56
25	青 木 晴 弥	岡 山	岡山理大附属	3	坂 口 生 磨	香 川	尽 誠 学 園	57
26	佐 藤 雅 紀	福 井	金 津	3	吉 田 蓮	岩 手	盛 岡 工	58
27	村 井 晋 之 介	滋 賀	立 命 館 守 山	3	木 皿 璃 夢 斗	山 形	羽 黒	59
28	坂 口 竣 亮	大 分	大 分	1	水 木 洸	宮 城	東 北	60
29	原 田 興 勇	神 奈 川	東 海 大 相 模	1	藤 木 晴 叶	石 川	能 登	61
30	昼 間 悠 佑	千 葉	木 更 津 総 合	1	長 島 綾 汰	埼 玉	松 山	62
31	中 村 歩 夢	北 海 道	帯 広 農	0	西 拓 郎	北 海 道	北 科 大	63
32	伊 藤 幹 太	東 京	早 稲 田 実	0	盛 岡 昂 生	三 重	三 重	64

男子ダブルス

植田 璃音・結城 琉衣
奈良県・高田商

1	清水・常盤	北海道	滝川西	3	0
2	伊藤・帆足	福岡	東福岡	1	2
3	鳥居・奥	愛知	大同大学大同	2	2
4	下田・山下	和歌山	和歌山北	2	2
5	坂手・小杉	京都	京都文教	2	1
6	尾島・永見	島根	松江工	2	2
7	久野・義永	山口	宇部工	2	2
8	南・竹内	三重	三重	3	1
9	高嶺・福本	沖縄	八重山	0	1
10	佐々木・下田	鳥取	米子松蔭	2	0
11	山本・今井	東京	明法	2	0
12	園部・白石	栃木	文星芸大附	3	2
13	大家・大江	富山	桜井	2	3
14	袴塚・樋口	福島	田村	0	1
15	津田・藤井	岩手	一関学院	0	1
16	那須・谷口	北海道	旭川東	1	1
17	紀野・小野	大分	大分商	0	1
18	有村・藤原	山梨	笛吹	1	1
19	向平・蛭名	青森	三本木	1	1
20	内田・宮田	香川	尽誠学園	1	1
21	猪股・畠山	秋田	秋田北鷹	3	1
22	松川・竹原	滋賀	綾羽	3	1
23	福島・加藤	高知	明德義塾	1	1
24	木下・藤井	佐賀	嬉野	1	1
25	澤田・大谷	徳島	つるぎ	0	2
26	福田・富田	北海道	滝川西	1	1
27	林・早見	岐阜	県岐阜商	1	1
28	藤本・神田	広島	清水ヶ丘	3	2
29	野中・坂本	熊本	ルーテル学院	2	0
30	加藤・鈴木	北海道	北科大	2	2
31	川上・鹿田	長野	長野俊英	2	2
32	武田・中島	群馬	前橋商	0	2
33	丸田・山下	長崎	長崎日大	2	2
34	植田・結城	奈良	高田商	2	0
35	長谷川・高嶋	茨城	霞ヶ浦	0	1
36	長島・郷	埼玉	松山	1	2
	高橋・高澤	新潟	越	37	
	小貫・小沼	茨城	常磐大	38	
	西田・戸田	福井	金津	39	
	本勝・藤井	兵庫	市尼崎	40	
	西村・木村	京都	南丹	41	
	山中・荒関	青森	八戸工大	42	
	島谷・久下	奈良	奈良	43	
	坂井・鈴木	静岡	知徳	44	
	坂本・駒谷	北海道	岩見沢東	45	
	佐藤・前田	岐阜	中京	46	
	山本・中川	島根	浜田	47	
	毛利・仲田	愛媛	新田	48	
	保利・星	栃木	宇都宮工	49	
	町田・伊藤	秋田	秋田令和	50	
	唐澤・猪股	福島	学法石川	51	
	三上・平井	大阪	上宮	52	
	宇野・上ヶ島	北海道	とわの森三愛	53	
	高橋・赤阪	神奈川	慶應義塾	54	
	松元・堀之内	鹿児島	鹿児島実	55	
	永田・佐藤	北海道	とわの森三愛	56	
	三ヶ島・松隈	佐賀	佐賀工	57	
	三村・立川	長崎	精道三川台	58	
	照屋・渡邊	沖縄	向陽	59	
	吉田・入江	香川	高瀬	60	
	丸山・室	富山	高岡商	61	
	武山・上貝	広島	神辺旭	62	
	佐藤・富主	宮城	ウルスラ	63	
	茶木・今田	岡山	岡山理大付属	64	
	古幡・笠原	長野	都市大塩尻	65	
	森・川崎	宮崎	都城商	66	
	昼間・竹之内	千葉	木更津総合	67	
	丹羽・香山	愛知	岡崎城西	68	
	藤木・中山	石川	能登	69	
	南・北島	埼玉	昌平	70	
	小見・阿部	山形	羽黒	71	
	西・小杉	北海道	北科大	72	

女子シングルス

大和 美月
宮城県 東北

1	福本 安汝	沖 縄	八 重 山			溝上 明璃	静 岡	浜 松 商	33
2	五味 陽日	神奈川	相 洋	3	1	大橋 玲雨	三 重	三 重	34
3	船木 彩花	秋 田	秋 田 令 和	2	1	大和 美月	宮 城	東 北	35
4	薄 優衣	愛 知	岡 崎 城 西			内藤 鈴	北 海 道	旭 川 実	36
5	庭田 咲月	埼 玉	埼 玉 平 成			目黒ななみ	群 馬	健 大 高 崎	37
6	高井 沙彩	富 山	高 岡 商	1		坂本 琉哩	高 知	幡 多 農	38
7	石井 胡桃	佐 賀	嬉 野			浦山 皐	和 歌 山	和 歌 山 信 愛	39
8	眞浦 ゆず	北 海 道	登別明日中等	3	2	中路 心結	愛 媛	今 治 北	40
9	高野 愛未	島 根	出 雲 北 陵	0	3	安保陽菜子	福 岡	中村学園女子	41
10	柴田 凜	岡 山	就 実			上米良凜乃	宮 崎	宮 崎 商	42
11	堀田菜々美	長 崎	長 崎 商	1	0	高木 夕愛	岐 阜	県 岐 阜 商	43
12	堀内 絢香	北 海 道	札幌龍谷学園			久留島加奈	滋 賀	甲 西	44
13	栗田みらい	山 形	羽 黒			西崎 美紅	栃 木	宇 都 宮 女 子	45
14	竹下 真央	熊 本	熊 本 中 央	0	0	関 心 那	北 海 道	とわの森三愛	46
15	佐藤 光	青 森	八 戸 工 大 一			中前 空	鳥 取	米 子 松 蔭	47
16	林 美桜	三 重	三 重	2	2	長瀬 千咲	徳 島	脇 町	48
17	小橋 愛菜	大 分	大 分 商	2	3	植木 萌香	茨 城	日 立 北	49
18	天間 麗奈	宮 城	東 北			田代 愛花	佐 賀	佐 賀 清 和	50
19	荒井 咲良	北 海 道	旭 川 東	1	1	平川さくら	神奈川	厚 木 北	51
20	小林 麻央	静 岡	静 岡 富 士 見			竹口 陽菜	石 川	能 登	52
21	安藤 愛莉	新 潟	北 越			河西 穂果	山 梨	笛 吹	53
22	田中 もも	岩 手	盛 岡 第 三	3	2	柿下 栞凜	福 井	福 井 商	54
23	天野 莉子	和 歌 山	和 歌 山 信 愛			横山 友香	山 口	徳 山 商 工	55
24	大野真里七	香 川	尽 誠 学 園	0		佐々木南帆	北 海 道	とわの森三愛	56
25	宮本 愛梨	千 葉	植草学園大附	2	1	佐々木美空	北 海 道	北 見 柏 陽	57
26	栗原 心	北 海 道	札幌龍谷学園			平林 花渚	奈 良	奈 良 育 英	58
27	高橋 美結	高 知	明 徳 義 塾	3	0	仲村早百合	岡 山	就 実	59
28	小林 彩花	長 野	松 本 蟻 ケ 崎			宮本 絢菜	福 島	学 法 石 川	60
29	佐久間結愛	東 京	文 大 杉 並	2		上田 絆灯	京 都	京 都 光 華	61
30	中谷ももこ	兵 庫	須 磨 学 園			荒田 空愛	鹿 児 島	鹿 児 島 実	62
31	富山 鈴香	栃 木	白 鷗 大 足 利			竹田 羽花	大 阪	昇 陽	63
32	房野 紗千	大 阪	四 天 王 寺	3	0	前川 愛生	広 島	広 島 翔 洋	64

女子ダブルス

前川 愛生・塚本 七海
広島県 広島翔洋

1	大 釜・池 田	大 阪	昇 陽	1	0 0	仲 里・瀬名波	沖 縄	糸 満	37
2	宮 本・久保田	福 島	学 法 石 川	0	2	佐 藤・畠 山	青 森	八 戸 工 大 一	38
3	義 達・佐々木	北 海 道	とわの森三愛	1 3		大 野・濱 田	香 川	尽 誠 学 園	39
4	安 達・伊 藤	宮 城	常 盤 木 学 園	3	1 2	石 塚・神 之 田	鹿 児 島	指 宿 商	40
5	清 水・横 山	山 口	徳 山 商 工	2	0	工 藤・大 山	宮 崎	日 南 学 園	41
6	福 本・石 垣	沖 縄	八 重 山	2 3	1	片 山・八 戸	長 崎	長 崎 東	42
7	千 葉・柳 川	東 京	文 大 杉 並	1		大 和・天 間	宮 城	東 北	43
8	溝 上・吉 野	静 岡	浜 松 商	3	0 0	杉 林・内 藤	北 海 道	旭 川 実	44
9	高 倉・横 山	富 山	高 岡 商	3	3	庭 田・篠 澤	埼 玉	埼 玉 平 成	45
10	北 原・中 谷	兵 庫	須 磨 学 園	3	0 0	本 田・笹 倉	富 山	富 山 い ず み	46
11	朝 日・福 井	奈 良	高 田 商			房 野・市 川	大 阪	四 天 王 寺	47
12	美濃島・福 留	岐 阜	鶯 谷	2 1	2	仲 村・近 坂	岡 山	就 実	48
13	鈴 木・岡 原	愛 媛	済 美	1	0 0	荒 井・高 松	北 海 道	旭 川 東	49
14	高 橋・伊 藤	広 島	加 計 芸 北	0	3	山 口・平 林	奈 良	奈 良 育 英	50
15	早 川・簾 畑	京 都	京 都 光 華	2	3	石 井・中 村	佐 賀	嬉 野	51
16	中 井・中 川	香 川	高 松 商	1 0	1 0	小 林・牛 越	長 野	松 本 蟻 ケ 崎	52
17	渡 邊・雨 宮	山 梨	甲 斐 清 和	3		前 川・塚 本	広 島	広 島 翔 洋	53
18	石 垣・藤 岡	北 海 道	札幌龍谷学園		1	大 岡・飯 塚	茨 城	常 磐 大	54
19	中 原・竹 下	熊 本	熊 本 中 央	1		高 木・桑 原	岐 阜	県 岐 阜 商	55
20	関 ・ 亀 田	北 海 道	とわの森三愛	2	3 0	湊 本・高 橋	高 知	明 徳 義 塾	56
21	篠 原・富 川	愛 知	岡 崎 城 西	2	3	川 角・栗 原	島 根	出 雲 北 陵	57
22	植 木・鈴 木	茨 城	日 立 北	3 0	1	高 本・大 西	京 都	福 知 山 成 美	58
23	中 島・近 藤	長 野	松 商 学 園	3	1	船 木・佐 藤	秋 田	秋 田 令 和	59
24	川 崎・丸 山	埼 玉	昌 平	3	1 0	田 中・山 田	北 海 道	旭 川 実	60
25	田 中・大 吹	岩 手	盛 岡 第 三	3 0		大 橋・ 岡	三 重	三 重	61
26	竹 口・宮 下	石 川	能 登	3	0	岩 田・溝 井	神 奈 川	日 大 藤 沢	62
27	浦 山・角 田	和 歌 山	和 歌 山 信 愛		1 0	黒 岩・小 林	群 馬	高 崎 商	63
28	岩 隈・安 保	福 岡	中 村 学 園 女 子		3	對 馬・山 田	山 形	羽 黒	64
29	柿 下・桶 谷	福 井	福 井 商	2	3 0	吉 澤・土 橋	新 潟	北 越	65
30	堀 田・柴 原	長 崎	長 崎 商	1 2		木 田・佐 々	滋 賀	甲 西	66
31	仲 倉・松 原	鳥 取	米 子 松 蔭		1 1	助 川・佐 藤	福 島	福 島 西	67
32	渡 辺・上 田	北 海 道	札幌龍谷学園	1	0	長 瀬・島 田	徳 島	脇 町	68
33	小 橋・内 藤	大 分	大 分 商	2 0	2	大 野・西 牧	栃 木	白 鷗 大 足 利	69
34	門 松・須ヶ牟田	鹿 児 島	鹿 児 島 実	3 2	0	西 畑・菅 原	北 海 道	札 幌 大 谷	70
35	中曾根・稻 葉	群 馬	健 大 高 崎	0	0 2	中 村・小 山 田	岩 手	一 関 学 院	71
36	庄 司・山 口	宮 崎	宮 崎 商			堂 上・平 野	千 葉	昭 和 学 院	72

令和6年度

西日本シニアソフトテニス選手権大会

■6月22日・23日 佐賀県・佐賀市 SAGA サンライズパーク テニスフィールド、佐賀県立森林公園テニスコート、佐賀市立テニスコート、唐津市 松浦河畔公園庭球場、佐賀県立唐津東中学校・高校テニスコート

佐賀県ソフトテニス連盟

シニア男子 50



優勝

石井 靖浩・今村 義美
(岡山、ENEOS・香川、なかよしクラブ)

準優勝

片峯 俊和・篠原 和彦
(福岡、TOTO)

シニア男子 55



優勝

加藤 健治・藤井 忠彦
(愛知、葵クラブ・知立連盟)

準優勝

原 秀樹・一ツ松 由至
(徳島、那賀川 Forty)

シニア男子 60



優勝

熊倉 高志・丸岡 昇司
(香川、若水クラブ)

準優勝

荒木義幸・松本宣博
(熊本、苓北クラブ・宇土クラブ)

シニア男子 65



優勝

鈴木 義之・指宿 睦仁
(兵庫、西脇クラブ・高丘クラブ)

準優勝

芝田 真次・新開 俊英
(愛媛、愛媛にぎたつクラブ・香川、若水クラブ)

シニア男子 70



優勝

中西 敏彦・坂上 澄雄
(鹿児島、日曜クラブ・熊本、帯山クラブ)

準優勝

篠邊 保・松村 俊介
(愛知、桜田クラブ・熊本、松橋クラブ)

シニア男子 75



優勝

木藤 勝敏・豊福 尚弘
(大阪、大阪OB軟庭会・佐賀、上峰クラブ)

準優勝

大崎 好隆・堀 多摩喜
(長崎、長商OB・ファミリークラブ)

シニア男子 80



優勝

青木 東平・木地 孝嘉
(愛知・七宝クラブ)



準優勝

松本 晋・古澤 周二
(徳島・徳島庭球倶楽部・広島・呉リンクラブ)

シニア女子 50



優勝

櫻井 佳子・松嶋 晴美
(愛知・豊田クラブ)



準優勝

浦川 真紀・前田ひとみ
(熊本・宇土クラブ・アタッククラブ)

シニア女子 55



優勝

中牟田 千恵・佐々木あゆみ
(福岡・福大クラブ・愛知・岡崎バードクラブ)



準優勝

末永タマキ・江河 信子
(宮崎・ゆうゆう)

シニア女子 60



優勝

高木ひとみ・野口真美子
(愛知・豊田クラブ)



準優勝

稲田 次美・中尾 信子
(愛媛・愛媛県レディースソフトテニス協会・大阪・大阪フリークラブ)

シニア女子 65



優勝

八幡みさこ・寺地 敦子
(島根・一の谷クラブ・鳥取・レディース鳥取)



準優勝

坂見美和子・細野 敦子
(愛媛・愛媛アカエムクラブ・岐阜・大垣早起ソフトテニス会)

シニア女子 70



優勝

片山あけ美・安藤 高子
(岐阜・チーム TAKA・スイート大垣)



準優勝

尾張 由美・岩原 慶子
(愛知・岡崎レディースクラブ)

シニア女子 75



優勝

坂口 敦子・清水 和子
(佐賀・鹿島クラブ・鹿児島・伊敷レディース)



準優勝

城所 房子・田口佐代子
(愛知・すみれクラブ)

シニア女子 80



優勝

高羽 邦子・山田 悦子
(大阪・堺ミルフィーズ・東大阪アミー)



準優勝

近藤 綾子・宮下 恭子
(兵庫・二見クラブ・大阪・ファニー)

令和6年度

第78回 西日本ソフトテニス選手権大会

■ 6月29日・30日 沖縄県・沖縄市

沖縄県総合運動公園庭球場・レクレーションドーム、那覇市 奥武山公園庭球場

沖縄県ソフトテニス連盟

【一般男子】

▽準決勝

内本 隆文・内田 理久 ④-2 丸中 大明・上松 俊貴
(広島県、NTT西日本) (広島県、NTT西日本)

上岡 俊介・丸山 海斗 ④-2 川崎 浩希・山本 貴大
(京都府、Up Rise・大阪府、one team) (京都府、ワタキューセイモア)

▽決勝

内本 隆文・内田 理久 ④-3 上岡 俊介・丸山海斗

【35男子】

▽準決勝

鬼頭 貴之・真柄壮太郎 ④-2 小嶋 建輝・村山 浩平
(山口県、山口教員クラブ・UBE) (熊本県、煌・長崎県、長島ITC)

古賀 崇史・花田 周作 ④-3 福西 大輔・川淵 泰直
(和歌山県、MONOLITH・和歌山県庁) (三重県、Panasonic)

▽決勝

鬼頭 貴之・真柄壮太郎 ④-2 古賀 崇史・花田 周作

【45男子】

▽準決勝

吉末 尚之・小宮 剛 ④-2 福田 晃大・三好 俊生
(山口県、山口クラブ・山口教員クラブ) (大阪府、東大阪市ソフトテニス協会・山口教員クラブ 香川県、なかよしクラブ)

國場 幸野・東 竜一郎 ④-2 渡部 繁樹・末吉 厳
(沖縄県、名護スポーツ) (愛知県、朝日STC・デンソー)

▽決勝

吉末 尚之・小宮 剛 ④-3 國場 幸野・東 竜一郎

【一般女子】

▽準決勝

長谷川憂華・辻倉 奈津 ④-2 矢野亜日華・岩元 愛美
(京都府、ワタキューセイモア) (兵庫県、神戸松蔭女子学院大学)

高橋 乃綾・岩倉 彩佳 ④-0 那須 暁帆・坂本栞梨乃
(広島県、どんぐり北広島) (愛知県、アドマテックス)

▽決勝

長谷川憂華・辻倉 奈津 ④-1 高橋 乃綾・岩倉 彩佳

【35女子】

▽決勝

谷口 翔子・吉崎香奈絵 ④-3 松野 美鈴・山下 千恵
(京都府、クレインズ・B-JOKER) (沖縄県、チーム我樹丸・今帰仁クラブ)

【45女子】

▽準決勝

橋本 綾子・山田 享代 ④-2 中谷 佳世・立澤 繭美
(愛知県、佐屋ソフトテニスクラブ・知立連盟)

上村知栄子・小谷 麻紀 ④-0 名嘉 秋子・石垣亜紀子
(和歌山県、L,C,C・(沖縄県、軟友会・ゴッドママ)

大阪府、箕面サングリーン)

▽決勝

橋本 綾子・山田 享代 ④-1 上村知栄子・小谷 麻紀



スポーツ // 文化活動 // ボランティア 団体活動のための補償制度

令和6年度
(2024年度)

保険期間
令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで

小さな掛金、大きな補償

スポーツ 安全保険



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。



#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
#放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
#部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

加入区分・掛金（年度初回加入時は4名以上）

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども※ (中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども※ (中学生以下)	個人活動補償型 A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人 (高校生以上)	C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下	4,850円
	B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注) C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和6年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 ☎ 0120-233-801
担当課 公務第2部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和6年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

 公益財団法人スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>

北海道

●第77回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会

6月5日～8日 釧路市民テニスコート

【男子個人戦】

- 1位：岩城 啓太・永田 侑也（とわの森三愛高）
 2位：宮崎 航和・佐藤 諒（とわの森三愛高）
 3位：宇野廉太郎・佐藤 光駿（とわの森三愛高）
 3位：熊谷 拓海・細川 瞬汰（旭川実業高）

【女子個人戦】

- 1位：石垣 陽菜・藤岡 七星（札幌龍谷学園高）
 2位：義達 心陽・佐々木南帆（とわの森三愛高）
 3位：西畑 咲愛・菅原 萌音（札幌大谷高）
 3位：渡辺 玲花・上田 あづ（札幌龍谷学園高）

【男子団体戦】

- 1位：酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
 2位：北海道科学大学高等学校
 3位：旭川東高等学校
 3位：旭川実業高等学校

【女子団体戦】

- 1位：酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
 2位：札幌龍谷学園高等学校
 3位：北海道札幌大谷高等学校
 3位：旭川実業高等学校

関東

茨城 栃木 群馬 埼玉
 千葉 東京 神奈川 山梨

千葉県

●第46回全日本レディースソフトテニス決勝大会 千葉県予選大会

兼 第4回全日本レディースソフトテニス決勝大会シニアの部

5月10日・19日 フクダ電子ヒルスコート

【すみれ】3ペア

- 1位：小張 美咲・角南真由美（小金原）

【ばら】1ペア

- 1位：佐久間里日・小松 美恵（市川）

【ゆり】12ペア

- 1位：西間木幸子・加藤 美雪（花見川・小金原）
 2位：久野亜佳子・正部家 薫（流山ママ）
 3位：内藤 江美・畠山 悦子（安房庭球）

【さく】5ペア

- 1位：早津小百合・望月 千秋（習志野・佐倉）
 2位：染谷 美樹・滝口麻理子（小金原・八千代STC）

【ふじAブロック】5ペア

- 1位：永田麻里恵・武津岡亜紗子（沼南風早）
 2位：有田美奈子・富田 敏子（浦安会）

【シニアの部】

【あやめ】15ペア

▽決勝

塩島 千波・松下 春枝 ④－2 山口 茂子・小川百合子
 （ときわ平・我孫子ママさん） （浦安会・明日香）

▽3位決定戦

菊川津江子・石井 浩子 ④－0 荒井 千草・佐藤美奈子
 （市原エイティ） （市原ファミリー・市原ドリーム）

【はぎ】9ペア

▽決勝

寺岡 明美・大井 恵子 ④－1 富樫 ふみ・小川 照美
 （柏千代田・北柏LTC） （茂原・柏千代田）

▽3位決定戦

立崎千代子・高師 千春 ④－1 斎藤 由美・石坂 幸枝
 （佐倉・明日香） （栗ヶ沢・流山ママ）

【さつき】8ペア

- 1位：和田 安江・青柳 幸子（茂原・黒潮）
 2位：竹之内恵子・三品 里子（高根台・さつき）

北信越

新潟 長野 富山
 石川 福井

長野県

●県ソフトテニスミックスダブルス選手権大会

5月5日 安曇野市豊科南部公園テニスコート

【ミックスフリー】14ペア

▽準決勝

池田 未来・池田 純一 ④－3 小林まどか・依田 陸玖
 （千曲） （佐久）

上條 美穂・朴 相俊 ④－0 山崎 圭太・丸山 美南
 （みのわ・HIN-HIN） （丸子・東御）

▽決勝

池田 未来・池田 純一 ④－1 上條 美穂・朴 相俊

【ミックス90】11ペア

▽準決勝

栗林さゆり・栗林 誠 ④－0 土屋 厚・北山由加利
 （上田） （千曲）

石林あけみ・小林 昂夫 ④－2 藤森 美雪・小澤 敏
 （塩尻） （岡谷・木曽）

▽決勝

栗林さゆり・栗林 誠 ④－3 石林あけみ・小林 昂夫

【ミックス110】10ペア

▽準決勝

片桐 浩子・依田 教夫 ④－0 小山 守・宮島美智子
 （佐久・長野） （塩尻・上田）

上原 美弘・宮澤真由美 ④－3 仙石 幸男・小林みどり
 （松本） （長野）

▽決勝

片桐 浩子・依田 教夫 ④－1 上原 美弘・宮澤真由美

【ミックス130】10ペア

▽準決勝

関 公行・池上 京子 ④－3 穂苅ちなみ・小林 秀一
 （諏訪・みのわ） （安曇野・長野）

佐々木堅了・荒崎 千香 ④－0 小林 和子・上野 弘
 （岡谷・塩尻） （長野）

▽決勝

関 公行・池上 京子 ④-2 佐々木堅了・荒崎 千香
【ミックス145】5ペア
1位：宮沢 幸男・中村記和子(岡谷)

●第42回 県小学生ソフトテニス選手権大会

兼第41回全日本小学生ソフトテニス選手権県予選会

5月5日 松本市浅間温泉庭球公園テニスコート

【男子】30ペア

▽準決勝

藤井・中坪 ④-1 中坪・上條
(箕輪オードリー) (箕輪オードリー)
徳高・君塚 ④-1 山本・佐藤
(長野JSTC) (箕輪オードリー・辰野小学生)

▽決勝

藤井・中坪 ④-1 徳高・君塚

【女子】37ペア

▽準決勝

小川・青木 ④-2 真嶋・西澤
(長野JSTC) (長野JSTC)
関・野村 ④-0 田中・ト部
(STA諏訪・朝日ウ) (SA飯島)

▽決勝

小川・青木 ④-1 関・野村

四

国

徳島 香川
愛媛 高知



高知県

●第61回四国ソフトテニス選手権大会

5月12日 高知市東部総合運動場テニスコート

【シニア女子65】6ペア

▽決勝

尾崎美智子・坂見美和子 ④-1 小野 須真・井関 恵子
(高知県 小津クラブ・ (高知県 かわうそ須崎クラブ・
愛媛県 愛媛アカエムクラブ) 愛媛県 広見STC)

【シニア女子70】3ペア

1位：渡辺須摩子・前川 寿美

(徳島県 徳島庭球倶楽部・抽栄会)



セーフティテニスポンプの キャップをしめて エアー漏れ防止!!

キャップの中に特殊シリコンオイルを染み込ませたスポンジが入っています。

特殊シリコンオイルはスリットの密栓度をより高めます。

使用する度に、しっかりとキャップをしめることでエアー漏れが防げます。

このキャップの先に、特殊シリコン
オイルが染み込んでいます。
キャップをしめる事で特殊シリコン
オイルが、テニスポンプの先に補充
されて、ソフトテニスボールの空気調整が
うまく出来ます。



セーフティテニスポンプ 専用オイル(補充用)

L-86090

20ヶ入り ¥5,000 (税込 ¥5,500)

1ヶ ¥250 (税込 ¥275)

仕様:

〈内容物〉
特殊シリコンオイル
〈内容量〉
6g
〈補充回数〉
約30回分 日本製



アカエムセーフティ テニスポンプヘッダー付

L-86210

1箱(24ヶ入り)

¥7,680 (税込 ¥8,448)

1ヶ ¥320 (税込 ¥352)

中国製



アカエムボール

M-30000

1ダース ¥5,400 (税込 ¥5,940)

1ヶ ¥450 (税込 ¥495)

サイズ: 直径66±1mm

カラー: ホワイト

重量: 30~31g 日本製

令和6年度 北海道学生ソフトテニス大会

第21回 知事杯 第56回 北海道大学対抗戦、
第56回 北海道学生ソフトテニス選手権
第46回 北海道学生シングルスソフトテニス選手権

■ 6月13日～16日 北海道・札幌市 円山庭球場

北海道学生ソフトテニス連盟

6月13日から16日にかけて、「令和6年度 北海道学生ソフトテニス大会」が札幌市円山庭球場にて開催された。

「第21回知事杯 第56回北海道大学対抗戦」には男子25チーム、女子12チームが出場し、各チーム3ペア以内の殲滅戦が行われた。男子大学対抗では北翔大学Aチームが初優勝を果たし、女子大学対抗を制した北翔大学Bチームとのアベック優勝を決めた。

「第56回北海道学生ソフトテニス選手権」には男子72ペア、女子30ペアがエントリーし、頂点の座を争った。

「第46回北海道学生シングルスソフトテニス大会」には男子131名、女子23名が参加し、全日本学生ソフトテニスシングルス選手権（インカレ）の男女各4枠をかけた熱戦が繰り広げられた。

今大会を通し、北翔大学2年の石田夏美選手が大学対抗・ダブルス・シングルの3冠を、札幌学院大学1年の太田遥来選手がダブルス・シングルの2冠を達成した。

男子

【大学対抗戦】

1位：北翔大学A
2位：札幌学院大学A
3位：札幌学院大学B
3位：札幌学院大学C



初優勝を飾った北翔大学A

1位：北翔大学B
2位：北翔大学A
3位：北海道大学
3位：北海道教育大学
旭川校A



優勝を遂げた北翔大学B

【選手権】

1位：岩城 爽太・太田 遥来（札幌学院大学）
2位：東 淳之介・内川 拓海（札幌学院大学）
3位：橋本 侑弥・黒田 寛之（札幌学院大学）
3位：松尾 海音・原 颯哉（函館大学）

1位：大和かのん・石田 夏美（北翔大学）
2位：鍛冶田倫幸・宗宮 遥菜（北翔大学）
3位：関沢 愛唯・藤田 藍良（北翔大学）
3位：遠藤 夢知・山上 楓（北翔大学）

【シングルス】

1位：太田 遥来（札幌学院大学）
2位：後藤 駿斗（札幌学院大学）
3位：荒川 裕貴（北翔大学）
3位：岩城 爽太（札幌学院大学）

1位：石田 夏美（北翔大学）
2位：遠藤 夢知（北翔大学）
3位：大和かのん（北翔大学）
3位：山上 楓（北翔大学）

8月5日(月)

広報委員会・機関誌部会（リモート）
デジタル委員会（リモート）

※この情報は7月31日現在のもので、
8月以降は変更になる場合があります。



www.gosen-sp.jp

GOSEN®

BEYOND THE POSSIBLE

すべての スポーツに エールを

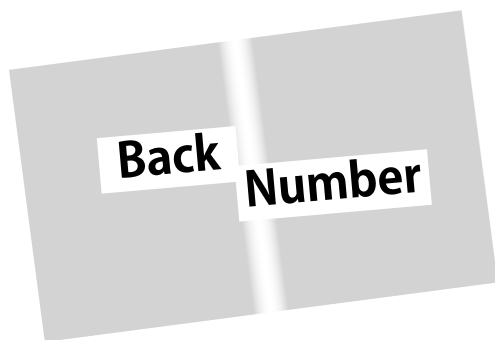
スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ





Back Number

2023年8月号

【表紙写真】

昨年7月下旬に福島県の東白川郡棚倉町のテニスパーク棚倉で行われた日本代表チームの強化合宿の様子

【本誌内容】

JOCが日本代表チームを正式発表！／公益財団法人 日本ソフトテニス連盟 令和5年度 定時評議員会 報告／令和5年度 定時評議員会用資料／第52回 ゴーセン杯争奪 ハイスchoolジャパンカップ2023／令和5年度 西日本シニアソフトテニス選手権大会／第77回 西日本ソフトテニス選手権大会／第78回 東日本ソフトテニス選手権大会中止のお知らせ／令和4年度 支部功労者・優良団体紹介 栃木県 新潟県 兵庫県 鹿児島県／「第5回 ソフトテニストレーナー研修会 報告」追加記事／地区大会・地方大会／支部ニュース／理事会・専門委員会報告 合宿報告／次号予告／令和5年(2023年)度 大会日程及び開催地一覧



Soft Tennis

9月号

次号予告

HPは

www.jsta.or.jp

メールアドレスは

info@jsta.or.jp

全日本実業団選手権大会

全日本小学生選手権大会

第4回／ソフトテニスの新時代に向けて

広告募集中！

毎月30～80万の
アクセスがある
ホームページです

日本ソフトテニス連盟ホームページ内
機関誌「ソフトテニス」に
広告を掲載してみませんか？

お問合せはこちらまで: kikanshi@jsta.or.jp

来月号は、連盟主催の「全日本実業団選手権大会」と「全日本小学生選手権大会」を始め、好評連載中の「ソフトテニスの新時代に向けて」、共催大会の「東日本選手権大会」、「全日本高校選手権大会(男女)」、「全日本レディース大会(個人戦)」を掲載します。お楽しみに！

2024年8月10日発行

ソフトテニス 第843号(2024年8月号)

発行人 安道 光二

発行所 (公財) 日本ソフトテニス連盟

〒140-0014 東京都品川区大井1-16-2-201

電話 03-6417-1654 FAX 03-6417-1664

編集 澄田公哉事務所

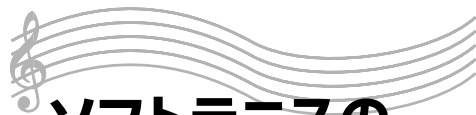
デザイン 明宏デザイン



2024年度(令和6年度) 大会日程及び開催地一覧

7月31日現在

	大会名	日程	開催地	次年度予定開催地
主催大会	第17回 世界選手権日本代表予選会	2024年 4月27日(土)～2024年 4月28日(日)	宮城県 仙台市	
	第31回 全日本シングルス選手権	2024年 5月18日(土)～2024年 5月19日(日)	福島県 会津若松市	宮崎県 宮崎市
	第5回 全日本ミックスダブルス選手権大会	2024年 6月15日(土)～2024年 6月16日(日)	奈良県 明日香村	広島県 福山市 他
	男子69回 女子68回 全日本実業団選手権大会	2024年 7月26日(金)～2024年 7月28日(日)	滋賀県 長浜市	青森県 青森市
	第41回 全日本小学生選手権大会	2024年 8月 1日(木)～2024年 8月 4日(日)	岡山県 岡山市	茨城県 神栖市
	第52回 全日本社会人選手権大会	2024年 9月14日(土)～2024年 9月15日(日)	石川県 金沢市	北海道 東北
	第31回 ジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニア選手権大会	2024年10月 5日(土)～2024年10月 6日(日)	広島県 広島市	広島県 広島市
	第28回 全日本シニア選手権大会	2024年10月12日(土)～2024年10月13日(日)	茨城県 水戸市・神栖市 北茨城市	兵庫県 神戸市 他 京都府 福知山市
	第2回 STリーグⅡ	2024年10月25日(金)～2024年10月27日(日)	京都府 福知山市	京都府 福知山市
	第31回 全日本クラブ選手権大会	2024年10月26日(土)～2024年10月27日(日)	千葉県 白子町	千葉県 白子町
	第79回 天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会	2024年11月 8日(金)～2024年11月10日(日)	東京都 江東区	東京都 江東区
	第2回 STリーグ	2024年12月12日(木)～2024年12月15日(日)	愛知県 豊田市	愛知県 豊田市
	STリーグ プレーオフ	2024年12月20日(金)～2024年12月22日(日)	広島県 福山市	広島県 福山市
	第70回 全日本インドア選手権大会	2025年 2月 2日(日)	大阪府 大阪市	大阪府 大阪市
共催大会	第53回 ハイスchoolジャパンカップ	2024年 6月20日(木)～2024年 6月23日(日)	北海道 札幌市	北海道 札幌市
	西日本シニア選手権大会	2024年 6月22日(土)～2024年 6月23日(日)	佐賀県 佐賀市 他	和歌山県 和歌山市 他
	第78回 西日本選手権大会	2024年 6月29日(土)～2024年 6月30日(日)	沖縄県 沖縄市	奈良県 明日香村
	第79回 東日本選手権大会	2024年 7月20日(土)～2024年 7月21日(日)	千葉県 白子町	
	全日本高校選手権大会(女子)	2024年 7月25日(木)～2024年 7月28日(日)	長崎県 長崎市	中国
	全日本高校選手権大会(男子)	2024年 7月29日(月)～2024年 8月 1日(木)	長崎県 長崎市	中国
	第51回 全日本レディース大会(個人戦)	2024年 8月 3日(土)～2024年 8月 4日(日)	長野県 長野市・松本市	三重県 四日市市 鈴鹿市 他
	第55回 全国中学校大会	2024年 8月19日(月)～2024年 8月21日(水)	石川県 能登町	熊本県 熊本市
	第46回 全日本レディース決勝大会(団体戦)	2024年 8月20日(火)～2024年 8月22日(木)	北海道 旭川市	福島県 会津若松市
	全日本学生選手権大会	2024年 9月10日(火)～2024年 9月16日(月)	沖縄県 沖縄市	
	第78回 国民スポーツ大会	2024年 9月20日(金)～2024年 9月24日(火)	佐賀県 唐津市	滋賀県 長浜市
	日本スポーツマスターズ2024	2024年 9月28日(土)～2024年 9月29日(日)	長崎県 諫早市	愛媛県 今治市
	第4回 全日本レディース決勝大会(シニアの部)	2024年10月 8日(火)～2024年10月 9日(水)	大阪府 大阪市	大阪府 大阪市
	第19回 ジュニアジャパンカップ (競技者育成プログラム Step4)	2024年11月22日(金)～2024年11月25日(月)	宮崎県 宮崎市	宮崎県 宮崎市
	第5回 平和カップひろしま国際大会	2025年 3月 8日(土)～2025年 3月 9日(日)	広島県 広島市	広島県 広島市
	第36回 都道府県対抗全日本中学生大会	2025年 3月26日(水)～2025年 3月28日(金)	三重県 伊勢市	三重県 伊勢市
	第50回 全日本高校選抜大会	2025年 3月28日(金)～2025年 3月30日(日)	和歌山県 和歌山市	愛知県 名古屋市
拠点	第24回 全国小学生大会	2025年 3月29日(土)～2025年 3月31日(月)	千葉県 白子町	千葉県 白子町
その他	第36回 ねんりんピック2024	2024年10月19日(土)～2024年10月22日(火)	鳥取県 米子市・北栄町 日野町	岐阜県
	第32回 日・韓・中ジュニア交流競技大会	2024年 8月25日(日)～2024年 8月31日(土)	韓国 聞慶市	中国
	第17回 世界選手権大会	2024年 9月 2日(月)～2024年 9月 9日(月)	韓国 安城市	



ソフトテニスの テーマソング

Winning Shot ～ウィニング ショット～ を広めよう！

ソフトテニス創始 120 周年および連盟創立 80 周年と
なった 2004 年、「ソフトテニスの歌」が発表され、CD
化も実現しました。タイトルは「Winning Shot ～ウィ
ニングショット～」。全国各地の大会会場で聴きたい、爽
やかで希望に満ちた歌です。

作詞・作曲者／Twune 編曲／audio-Librar

青い空に向けて 白いボールがはずんでる 光の中で
いつもどんな時も テニスコートに立つかぎり 胸が踊るよ

きのうのどなくやささも 今日戦う勇気に変えよう……！

Ah 勝利をつかむまで
あきらめたくない For My Dream！
さあ！ 風を切って走れ
打ち返すんだ ウィニングショット！

うまくいなくても 前を向いた心なら 悔まないのさ
きっと強くなって 振り抜くラケットに 熱い願いを込めろ

光る汗を流し続けて 明日の夢の扉開け……！

Ah いつも心に太陽
ゆずりたくはない For My Heart！
さあ！ 信じるまま進め
希望に満ちた ウィニングショット！

Ah 翼をひろげよう
世界に羽ばたけ Soft Tennis！
Ah 今ここにある夢
未来を行け！ ウィニングショット！

著作／財日本ソフトテニス連盟 製作／しゅくみねっと株式会社



Vocals

Winning Shot

～ウィニング ショット～

作詞・作曲／Twune
編曲／audio-Library

♩ = 144

Intro

[A]

1. あおい そらに むけて も しろ い ボー ル が は ず ん で る
2. うま く い か な く て も ま え を む い た こ こ ろ な ら

ひ か り の な い か で さ
く や ま な い の で さ

い つ も ど ん な と き も テ ニ ス コー ト に た つ か ぎ り
き っ と つ よ く な っ て も ふ り ぬ こ ラ ケ ッ ト に あ つ い

む ね が お ど る よ り
ね が い を こ め る き ひ

[B]

二 の う の ど ん な く や し さ も て
か る あ せ を な が し つ げ

き ょ う た た か う ゆ う き に か え る う... !
あ す の ゆ め と び ら ひ け... !

[C]

Ah し ょ う り も こ こ ろ に ま た い で よ う
Ah い つ も

あ き ら め た く は な い For My Dream!
ゆ ず り た く は な い For My Heart!

さ あ ! か ぜ を き っ て は し れ
さ あ ! し ん じ る ま ま ず れ め

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

環境を守る スポーツを守る 未来を守る

TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに！



公益財団法人日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee